



横浜市 技連協だより

第41号 平成22年1月31日

技連協シンボルマーク
(平成6年7月12日制定)

横浜市技能職団体連絡協議会(略称技連協)とは
市内の技能者(職人)の集まりで、昭和43年11月に
結成されました。

発行 横浜市技能職団体連絡協議会
事務局 横浜市技能文化会館内 〒231-8575 横浜市中区万代町2-4-7
電話 045-650-5811 F A X 045-650-5862

発行責任者 会長 島 山 滋

○ 第30回 よこはま技能まつり開催 ○

平成21年10月4日(日)、今年で30回目を迎える技連協の一大イベントである第30回よこはま技能まつり(主催:横浜市技能職団体連絡協議会)が大通り公園にて開催されました。

ハマの職人が一堂に会しての「よこはま技能まつり」は、市内の職人が、長年の経験と研鑽で得た衣・食・住・生活一般等にかかわる手作業・手仕事の技能を広く市民の方々に、披露し、継承していく事を目的として開催しています。

伝統の技はもちろん「ものづくりの楽しさ」「ものづくりの大切さ」を見て体験してもらい、その他相談コーナー、作品展示、直売なども行いました。

天候にも恵まれ、横浜市から渡辺経済観光局長をはじめ高崎市職業能力開発連絡協議会小林成行会長、林忠一副会長、川崎市技能職団体連絡協議会若月偉男会長など多くの方々が出席される中、オープニングセレモニーでは、横浜市鳶工業連合会の皆さんによる木遣り・纏が披露され、会場を練り歩き、イベント会場を盛り上げてくれました。

会場には約3万人が訪れ、技能体験や実演などで大変賑わっていました。特に、多くの子供たちの参加が目を引きました。

市技能職団体連絡協議会(島山滋会長、46団体)が20日、社会福祉のために「第30回よこはま技能まつり」の収益金12万9205円を神奈川県厚生文化事業団に寄託した。写真。



「技能まつり」は、横浜の職人が一堂に会し、その技能と心意気を披露し、市民生活を支える衣食住

民にものづくりを体験してもらうのが狙い。毎年秋に開いている。今年も10月4日、中区の大通り公園を会場に、30団体が33のブースを出して開かれた。ポスターをかがたり、銅板で表札を作ったり…。各ブースではさまざまな体験ができ、好天に恵まれて約3万人が訪れた。寄託金は、その折の収益金の一部。島山会長は「来年

秋には神奈川県で技能五輪全国大会も開かれる。厳し中、頑張っている技能職に関心を持ってもらい、後継者の底辺を広げていきたい」と話していた。

横浜市経済観光局長 渡辺巧教局長挨拶



技能まつり会場の来場者の賑わい



横浜市鳶工業連合会による、木遣り・纏の披露



神奈川新聞
平成21年11月21日付

●●●● 受章の喜び ●●●●

(敬称略)

現代の名工

鈴木 栄治 (和裁師)
— 横浜マイスター会 —



日本海が真っ青な色に衣替えする春、昭和39年4月新潟の故郷を後にして和裁の修行に横浜へ来て46年、先生、先輩の指導、友人の支えにより和裁一筋に今日まで歩いて来た道のり。3年の経験を重ねて、国家試験に合格。5年目にして後継者の育成に従事し、教える事の大変さ痛感いたしました。平成8年に初代横浜マイスターに認定され、それ以後は私自身のオリジナル作品の技術を開発し、「陽炎仕立て」「切り嵌め象嵌」等々を発表、創作展示会等を開催することが出来、周りの人達に感謝の気持ちでいっぱいです。この度の黄紋褒章授章、周りの皆様のお陰と心から感謝申し上げます。

これからは初心に戻り後継者の育成、和裁師の社会的地位向上に努力していく所存でありますので、なお一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

誠に有難うございました。

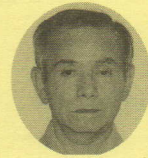
鳥澤 俊子 (婦人子供服仕立職)
— 神奈川県洋装組合連合会 —



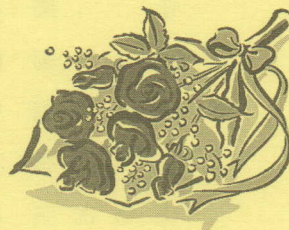
この度、厚生労働大臣より卓越技能者「現代の名工」に選ばれました。誠に身にあまり光栄と存じます。今迄私を支えてくださいました皆様方に心より厚く感謝を申し上げます。

私は長年技能研鑽に務め、縫製技能と服飾知識の習得にすべてをつくしこの道を一筋に歩んで参りました。この受章に、恥ないよう精進を重ねて、技能の向上、後進の指導育成業界の発展に貢献して参りますので今後とも宜しくお願いいたします。

山本 秀雄 (和裁師)
— 神奈川県和服裁縫協働組合 —



昭和12年生まれの72歳、17歳で東京和裁所に弟子入りし、25歳で「山本和裁」として独立しました。平成12年神奈川県卓越技能者、15年全技連マイスター認定、19年厚生労働大臣卓越技能者。現在、神奈川県和服裁縫協働組合副理事長、神技連常務理事・事業委員長等多くの役職を務めています。また長年にわたり後進の指導育成と技能検定に携わり、適正な技能検定の運営実施を図り、業界の発展にも寄与され、今回技能検定関係功労者として表彰されました。



平成21年度 横浜マイスター決定



植松 幸男 (うえまつ ゆきお) — 調理師 (西洋料理) —

フランス料理を専門としていますが、現在は、新横浜グレイスホテルの執行役員総料理長として和洋中の料理を統括し、料理を作る上で基礎となる技術を後継へ伝承しながら、独自の工夫を重ねた料理作りをしています。安全かつ高品質な素材に重点を置き、魚介類、鶏肉等は産地指定の物を、野菜等の生鮮食品は地元横浜産を常に利用し地産地消に取り組んでいます。

— (社)全日本司厨士協会関東総合地方本部神奈川県本部 —



尾崎 正志 (おざき まさし) — 版画摺り師 —

木版画・銅版画・石版画 (リトグラフ) の版種別に摺り師が分かれることが一般的ですが、版種における素材や使用材料についての深い知識と経験から、すべての摺りが可能な版画摺り師です。

現在は、多くの著名な芸術家からの依頼を受けると同時に、版画職人が経営するワークショップシステムのスタジオを運営し、自身の技術と摺りの世界を広く一般に広めるように努めています。



堀内 強美 (ほりうち つよみ) — 食肉加工・飲食店 —

ロースなど必要な部位だけではなく、上質の国内産豚肉を仕入れ、それぞれの部位に合った調理方法で加工しています。精肉業に裏打ちされた確かな技術を生かしたソーセージやハムは、国内だけではなくヨーロッパでも高い評価を得ています。また、独自に開発した釜を使って焼くとんかつは、極力油を抑え、現代に合ったとんかつとして製造方法と釜の両方で特許を取得しています。

〈横浜市技能功労者表彰とは〉

永く同一の職業に従事し、功労顕著な技能職の方々を対象に、個人の持つ極めて優れた技能と、他の技能職者への模範となり、指導的な立場にある方を称えるために設けられた制度です。

〈横浜市優秀技能者表彰とは〉

同一の職業に従事し、その職種を中心となって活躍している技能職の方々を対象に、個人の持つ優秀な技能と、他の技能職者への模範となる方を称えるために設けられた制度です。

〈横浜市技能職者奨励賞〉

若手技能職者として功績が顕著で、今後の活躍が期待される、全国規模の大会で上位入賞された方を表彰する制度です。

横浜市技能功労者の皆様

☆受賞職種 30 職種 ☆受賞者 71 人

石 工 眞 山 繁	写 真 師 石 井 千 枝 子	配 管 吉 村 明
石 工 花 塚 吾 朗	スクリーン印刷 辻 卷 紀 子	鍼・灸・マッサージ 瀬 辻 井 智 江 子
印章彫刻 大 熊 信 良	造 園 高 橋 更 一	鍼・灸・マッサージ 永 江 壽 子
型 枠 大 工 畑 山 兼 夫	造 園 石 山 昭 夫	板 金 鶴 岡 孝
看板製作 野 口 幸 雄	造 園 内 田 和 夫	表 具 師 岩 崎 政 幸
看板製作 種 田 恒 雄	造 園 中 山 勝	美 容 師 村 田 洲 子
着 付 士 北 川 照 子	染 物 洗 張 石 井 恵 美 子	美 容 師 垂 石 蓮 枝
建 築 大 工 鈴 木 廣	染 物 洗 張 小 林 秀 雄	美 容 師 三 浦 み よ 子
建 築 大 工 瀧 川 恒 夫	畳 工 金 井 一	美 容 師 月 野 正 代
建 築 大 工 檜 村 茂	畳 工 久 保 田 裕 二	婦 人 服 裁 縫 師 長 谷 川 喜 久 子
塗 装 田 中 將 喜	畳 工 栗 竹 英 太 郎	婦 人 服 裁 縫 師 和 田 正 子
防 水 工 事 伊 東 宏 躬	調 理 勝 又 隆 光	浴 槽 設 備 施 工 神 保 良 行
建 築 大 工 伊 藤 三 郎	調 理 猿 渡 道 太 郎	理 容 師 神 保 忠 彦
造 園 渡 邊 宏	調 理 高 橋 忠 夫	理 容 師 三 橋 康 利
電 気 工 事 二 方 節 男	調 理 青 木 滋	理 容 師 中 込 勇 治
塗 装 穂 元 善 司	調 理 滝 本 行 雄	理 容 師 和 田 俊 明
建 築 大 工 古 屋 澄	電 気 工 事 西 田 正 三	理 容 師 石 黒 敏 幸
機 械 器 具 設 置 天 野 茂 吉	豆 腐 製 造 業 石 川 洋	理 容 師 鈴 木 繁
左 官 根 本 榮 治	時 計 修 理 大 塚 順 造	理 容 師 長 妻 稼 市
電 気 工 事 佐 竹 仁	塗 装 生 形 一 治	ワ イ シ ャ ツ 加 工 高 島 成 朗
左 官 小 泉 博	薦 職 金 子 一 郎	和 裁 師 木 村 鈴 代
左 官 米 倉 昇	薦 職 粟 飯 原 達 雄	和 裁 師 磯 崎 と く 江
左 官 新 保 政 夫	薦 職 福 田 三 千 春	和 裁 師 鈴 木 榮 治
左 官 山 田 正 治	薦 職 櫻 井 征 之	

横浜市優秀技能者の皆様

☆受賞職種 26 職種 ☆受賞者 74 人

石工	原直之	電気工事	二木学	鳶職	小林信彦
石工	川崎貴寸	左官	野邊田正己	鳶職	綿貫俊裕
石工	加藤美武	左官	宇佐美圭	鳶職	豊嶋充
印章彫刻	國峯伸之	左官	石井国宏	鳶職	榎本純一
型枠大工	土田宏司	左官	根建則雄	鳶職	品田雄一郎
型枠大工	鎌本渡	写真師	原享位	配管	山野木茂
型枠大工	土橋康雄	スクリーン印刷	青山早苗	配管	松崎幹
看板製作	浦邊宣伸	洋菓子製造	村田好弘	配管	大里誉士人
看板製作	安田茂	造園	間渕武志	鍼灸・マッサージ師	大渕真
建築大工	松浦勲	造園	関水裕一	鍼灸・マッサージ師	内田豊彦
建築大工	日野原弘	造園	佐藤幸樹	板金	常田喜彦
看板製作	長崎勝利	造園	加山善広	板金	歌川晶夫
建具職	中村勝俊	畳工	高瀬美男	板金	高畑友介
塗装	小林雄一	畳工	田村高典	表具	石渡雄司
内装仕上工	山崎隆	畳工	福島僚太	理容師	石立太郎
建築大工	三枝哲弥	建具職	野口正男	理容師	藤倉大介
配管	宮崎大治	調理	塩川倫義	理容師	今井一徳
建築大工	金城正治	調理	新井浩一	理容師	府川庄治
建築大工	菅修司	調理	深谷哲也	理容師	河村修
建築大工	羽富恵介	調理	三宅敏成	理容師	庄司竜太郎
電気工事	石川明成	調理	堺継嗣	理容師	松本太郎
建築大工	須藤洋二	調理	浅田典克	理容師	芦村和生
空調工事	宮本光国	電気工事	岩本明久	理容師	佐藤智幸
内装仕上工	木塚優樹	豆腐製造業	大港正俊	理容師	永島浩則
ガス設備工事	大和田広治	時計修理	我妻賢志		

横浜市技能職者奨励賞の皆様

印章彫刻	大賀雅雄	第25回技能グランプリ	印章木口彫刻	第2位
家具	松浦尚見	第46回技能五輪全国大会	家具	第2位
家具	秋山大	第46回技能五輪全国大会	家具	第3位

職人から学ぶ講座（受講生の声）

◆「和裁師から学ぶ浴衣の縫い方ⅠⅡ」

I：5/19日(火)～7/21日(火)

II：9/8日(火)～11/25日(火)

技能文化会館で行う講座で参加者全員が、一回三時間十回でゆかたを縫い上げる事を願って一回々、同時進行出来る様に計画致しました。現在の生活の中で「きもの」の和裁用語をどう伝えたら理解してもらえるかと云う事です（職人から学ぶ講座）と云う事を考えやさしく縫うと云う事もあります。職人としての技術を伝えたいと思っています。

運針から始まりゆかた仕立てに必要な部分縫いぐし縫い（並縫い）折ぐけ、耳ぐけ、本ぐけ、かんぬき留等、裁ちへら付、三回目から縫いに入ります。

受講生の皆さんが完成させる事を目標にがんばってる様子を思うと最終回に仕上げたゆかた着て帯を付けていい笑顔を見せてくれる事が何よりもうれしく思います。指導者にとって最高の喜びの時です。

ここ数年受講希望者が多く年二回の講座となっています。日本の民族衣装に目を向けて下さる事に感謝し和服の美しさを伝えて行こうと思います。

神奈川県和服裁縫協同組合
石井美智子



◆「プロから学ぶブラウスとズボンの縫い方」

9/25日(金)～11/27日(金)

職人から学ぶ講座を終了して

講師団体 神奈川県洋装組合連合会

この度「婦人服裁縫師から学ぶブラウスとパンツの縫い方」に多くの方にご参加していただき、心よりお礼申し上げます。

全10回の講座でしたが、熱心に学ばれすばらしい作品になりました。ご苦労様でした。

私達熟練技能士が講師として指導に当ります、皆様の熱心さに大変感激して居ります。



◆「板金屋さんから学ぶ親子表札作り」

8/30日(日)

アンケート結果3 今回の講座で「プロから学んだところ」は何ですか

- ボールペンで字をなぞった後、裏から又、内側をなぞる点。
- 全ての工程が丁寧な手仕事で仕上がってゆく体験が出来て本当に良かったです。最後までお世話になり有難うございました。
- やはり職人さんだからこそ出来る事だと思いました。手に職があると言うのは素晴らしいと思いました。
- 色々な仕組みがわかっておもしろかった。
- みがき具合で色の出かたが違うなど。ハンダの違い。
- 銅板を使った表札の作り方の仕組みが理解しやすかった。仕事のていねいさが伝わってきた。
- 銅板の厚みで仕上がりがかわってくる。
- 物作りに対する「ていねいさ」「きめこまかさ」
- 表札のつくり方など、全然知らなかったが、一から教えていただき、すばらしいものが出来て、今回参加して良かったです。充実した時間を親子で過ごせ、夏休みの思い出にもなりました。ありがとうございました。
- 「板金は何するの？」と質問されながらの参加。今と昔を少し知り、一度ではなく何度となく繰り返して仕上げる事でキレイになる事。本人「頑張ってたかった！」との事でした。



職人から学ぶ講座 — 今後の予定 —

- | | | |
|--------------------------|-----------------|-------|
| ●花屋さんから学ぶお祝いのフラワーアレンジメント | 2/21(日) | 午後1時～ |
| ●プロから学ぶ西洋料理のコツ | 2/28(日)～3/14(日) | 午後1時～ |
| ●お豆腐屋さんから学ぶ豆腐作りパート2 | 3/28(日) | 午後1時～ |

各団体の活動報告

第12回 横浜マイスターまつり開催

～開港 150 周年イベント～

平成 21 年 11 月 7 日(土)横浜市技能文化会館と大通り公園で、第 12 回横浜マイスターまつりが開催されました。横浜マイスターまつりは、各マイスターたちが自らの技能を披露することなどにより、市民に手仕事・手作業のものづくりの良さへの理解を深めてもらうことを目的として開催されています。今年は、横浜開港 150 周年イベントとして、食のマイスター(清水郁夫マイスター、鄭恵淋マイスター、山本次夫マイスター)と林市長が横浜発祥の料理を語り合うというステージイベントが行われました。今回は、30 人のマイスターがそれぞれのブースにおいて卓越した技能をお客様に披露しました。また、来場した市民の方々からは、マイスターの卓越した技を見て、あちこちから感嘆の声があがっていました。



マイスターまつり会場
来場者の賑わい



子ども達の篆刻体験



林市長あいさつ

青年部の活動 — 平成二十一年度

●平成二十一年度 青年部総会～青年部長 加納希夫～

6月9日(火)、横浜市技能文化会館8階801号室にて通常総会を開催いたしました。平成21年度より技連協を取り巻く環境等にも変化があり、青年部活動にも変化が必要になるかと思われま。その中で青年部は異業種交流の貴重な場を通して各代表者の相互理解と親睦を図りながら、青年技能職者の社会参加の場として発展したいと思っております。

時勢や支援体制の変革の中、本年度も青年部活動に対して、皆様の御理解と支援をお願い申し上げます。

●第30回 技能まつりへの参加

10月4日(日)、技能文化会館前/大通り公園にて行われた『第30回技能まつり』へ参加いたしました。青年部はテントでの飲料販売で参加。また本部業務の手伝いを行いました。

●第24回 四市技連協青年部交流会～担当：富士市技能職団体連絡協議会 青年部～

12月6日(日) 静岡県富士市 ラ・ホール富士にて『四市技連協青年部交流会』に出席しました。

各都市(富士/横浜/川崎/藤沢)の技連協青年部、代表者が技連協を取り巻く状況や市民活動への取組み、今後の課題などの意見交換をいたしました。各都市の技連協への支援体制の相違、各組合活動の変化/変革、後継者育成や各業界の新たな取組みなど、多岐にわたり話すことができました。今後もこのような機会の中で他都市青年部との交流を通じて、連携を深められればと思いました。

交流会の後、体験講座で『ふじマイスター(匠人/たくみびと)小林 賢治郎氏(建具・家具工)』によるふじ檜での組子細工コースター作りを体験させてもらいました。いつもながら参加者一同、童心にかえりました。

また今回は『富士市技能職団体連絡協議会 青年部 結成20周年記念祝賀会』への出席しました。

第 12 回全国技能職団体連絡協議会会議に出席して

横浜市技能職団体連絡協議会 会長 畠山 滋

開催都市：高崎市技能職団体連絡協議会

日 時：平成 21 年 11 月 17 日（火）

場 所：メトロポリタン高崎

テ ー マ：

- ①平成 21 年度新規事業・重点事業について
- ②後継者育成について

全国から 14 都市の参加のもと、左記テーマに従いお互い闊達な意見交換をいたしました。テーマ 1. 新規事業・重点事業については各都市とも表彰事業や技能職振興に取り組み、2. 後継者育成事業については、各都市ともこれまでどおりの少子高齢化の中で後継者育成に重点的に取り組み、手づくりの良さ、手のぬくもりを感じることはもちろん、「ものづくりの喜び」「伝統技能の大切さ」を知ってもらうために、インターシップ事業や子どもたちを中心に、技能職者に学ぶ「技能体験学習」を実施、将来を担う技能職者の発掘・育成に積極的に取り組んでいるという報告がありました。

技能交流室の取扱いについてお知らせ

- ・予約受付 4 階管理事務所 電話番号：045-681-6639
FAX 番号：045-681-6554
- ・鍵の取扱い 1 階貸施設受付（匠プラザ内）
- ・その他の取決め ① 電話番号予約受付時間 月～金曜…午前 9 時～午後 5 時迄
② 技能交流室利用時間 午前 9 時～午後 10 時迄
但し、年末年始休館日（12 月 29 日～1 月 3 日）
及び毎月休館日（第 2 水曜日）を除く



技連協の今後の行事

☆新春交流会

日時：平成 22 年 2 月 4 日（木）

午後 6 時から

会場：ホテル横浜ガーデン

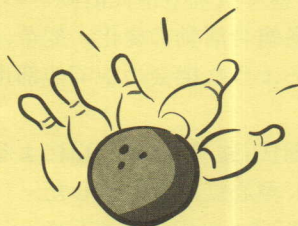
☆技連協ボウリング大会

（予定）

日時：平成 22 年 3 月 11 日（木）

午後 6 時 15 分スタート

会場：新杉田ボウル



40 周年記念誌の謝罪文

昨年 6 月に発行された技連協 40 周年記念誌である「技連 40 年のあゆみ」対談第 20 回の文中において、一部不適切な表現がありましたことを深くおわびいたします。

事務局よりの便り

昨年 12 月 14 日より新事務局員として遊佐勝子さんに技連協の事務を担当していただくことになりました。よろしく願いいたします。なお、横浜市技能文化会館の技能職交流室に月・水・金 13：00～17：00 まで従事しています。

■新連絡先：TEL 045-650-5811

FAX 045-650-5862

緊急時：TEL 045-711-4477（畠山）

FAX